

第58回 道民教合同研究宗谷集会

宗谷らしさを満喫できる企画も充実!

2日目昼食は 稚内名物「チャーメン」!



稚内には「チャーメン」というソウルフードがあります。その正体はあんかけ焼きそばのようでそうではない、奥の深い味わいです。2日目の昼食ではチャーメンを提供します。ぜひ、稚内グルメを味わってください!

1食850円(お茶付き) ◆事前申込が必要です。

29日(月)は、フィールドワークも!

大会翌日の29日にはオプションとしてフィールドワークを開催。地元の方による案内で、まるごと宗谷を学びましょう。

稚内市内コース:午前中のみ
◆羽田行ANA572便に接続します。
利尻・礼文日帰りコース

◆最少催行人数は各コース20名
◆事前申込が必要です。



大会テーマ 「日本の最北端で教育とまちづくりを語ろう」

2019年7月27日(土)・28日(日)

主会場: 稚内市立稚内東小学校
稚内市潮見5丁目1番5号

交流会会場: 稚内市北防波堤ドーム公園
稚内市開運1丁目1番

主催: 第58回道民教合同研究宗谷集会実行委員会
北海道民間教育研究団体連絡協議会
後援: 稚内市教育委員会
宗谷校長会
宗谷管内公立学校教頭会

参加費

講座・分科会・シンポジウム・全体講演

大交流会

	両日	1日目のみ	2日目のみ	講演会のみ	
教員	3,500円	1,500円	2,000円	500円	大人 5,500円 飲み放題・生ビール付き
一般・学生	2,500円	1,000円	1,500円		子ども 2,000円

29日フィールドワーク

◆詳しくは別紙をご覧ください

稚内市内コース	稚内市内貸切バス代・旅行保険が含まれます	5,000円
利尻・礼文コース	利尻島内・礼文島内貸切バス代、稚内-利尻-礼文-稚内のフェリ-2等料金、昼食弁当代金・旅行保険が含まれます	16,000円

申込について

FAX・メール・ホームページのフォームから受け付けます。

メール
QRコードを読み
必要事項を記載して送信!

FAX
このチラシ折り込みの
申込フォームを送信ください

パソコン・スマホ
ホームページの申込フォームに
必要事項を記載して送信!

受付の手順は
次のようになります

左記のいずれかの方法で送信

事務局から受付ハガキを送付
参加費合計と振込先を記載

金融機関で振込をお願いします

当日、受付はがきをご持参ください

⚠️ 宿泊の手配について ⚠️

夏の宗谷はツアー旅行客が多く訪れるため、ホテルの部屋数に限りがあります。道民教宗谷集会実行委員会では宿泊の斡旋は行いません。各サークル・各個人による早めの宿泊手配をおすすめします!



発行・問い合わせ先
第58回道民教合同研究宗谷集会実行委員会

実行委員長: 但田 勝義 (稚内北星学園大学)
事務局: 稚内市若葉台1丁目2290-28 稚内北星学園大学米津研究室
メール: dominky@soya-wakkanai.com
web: http://www.soya-dominky.com



ごあいさつ

稚内市は40年間子育て運動に取り組んでいて、教育でまちづくりを進めてきた経過があります。町内会の子ども育成部を中心とするなどして地域で子どもたちを見守ってきたのです。地区ごと・地域ごとの子育て運動の成熟が、学校と地域・保護者がつながる原動力となってきました。また、各学校では「うちの学校の子どもたちが生き生きと学ぶことができるように」と教育課程づくりの取り組みを進めています。

2019年夏、道民教の全道集会を稚内市で開催することになりました。最北端の街・稚内で、私たちが大切にしたい教育とは何か、地元とともに歩んでいく教育のあり方を考え合ひましょう。

2019年5月
第58回道民教合同研究宗谷集会実行委員会

大会日程

	27日(土)	28日(日)	29日(月)
午前		9:00~12:00 分科会	オプション フィールドワーク 稚内市内コース 利尻島・礼文島コース
午後	13:00 受付開始	昼食休憩 13:00~15:00 全体講演 15:15~15:30 閉会集会	
	13:30~13:45 開会集会		
	13:45~15:00 シンポジウム		
	15:15~16:45 講座		
夜間	休憩・移動 18:00~20:00 交流会(北防波堤ドーム)		

シンポジウム 27日(土)13:45~15:00

テーマ「宗谷の教育と民主的学校づくり」

宗谷には「民主的学校づくり」という考え方があります。1970年代の教育合意運動がきっかけとなり、47教育基本法にある「人格の完成」を保護者や地域住民とともに具体化する取り組みとして各学校が「教育課程づくり」の営みを豊かにしながら、学校づくりを大切にしています。

2020年以降に実施される新学習指導要領を前に、各学校では「うちの学校で大事にすべき学校文化や伝統を教育課程としてどう位置づけるか」「子どもたちに身につけさせたい学ぶ力とは何か」ということが真剣に議論されています。

今回のシンポジウムでは、宗谷管内の先生方がそれぞれの学校で取り組んでいる教育課程づくりをはじめとした、民主的学校づくりに基づく力合わせを共通の話題として、これからの学校のあるべき姿について考え合ひたいと考えています。

講座 27日(土)15:15~16:45

1 稚内の再生可能エネルギー

稚内市環境水道部環境エネルギー課長 市川 正和さん

日本最北端の稚内では風力、バイオマス、雪氷などの新エネルギーを通したまちづくりを進めています。なぜ稚内で再生可能エネルギーに取り組むのかを学ぶことを通して、子どもたちと地域を学ぶ意義を考えましょう。

2 みんなで踊ろう！南中ソーラン！！

南中ソーラン連のみなさん

南中ソーランの保存・継承を目的として発足した「南中ソーラン連」は主に稚内市内の高校生を中心に活動しています。ぜひ、南中ソーランの起源を知るとともに体を動かして南中ソーランをマスターしませんか？

3 LGBTと学校教育「性同一性障害」を入口にして…

※「LGBT」とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を組み合わせたものです。
二通 諭 全道研道支部運営委員長 H.A.S.札幌ミーティング北海道セクシュアルマイノリティ協会代表
札幌学院大学名誉教授 日野由美 STN性的少数者教職員ネットワーク会員

「子ども理解力」を身につけるうえでLGBT認識の形成は喫緊の課題です。みんなで以下のことができる実践者を目指しましょう。①性別違和(心の性と身体の性の不一致)や同性を好きになるなど性指向で悩んでいる子どもに思いを馳せ、必要な支援や対応ができる。②「ホモ」「オカマ」などといったからかいによって、人知れず傷ついている子どもがいる状況において、その是非を集団で考えさせることを含め、適切な手立てを講じることができるようにしましょう。

4 算数 わかる！たのしい！この授業

～この教材・教具が確かな学力を育てる～
北海道地区数学教育協議会(数教協) 櫻庭喜美雄さん

四則計算は、子どもの思考に沿った水道方式で指導します。加減算ではタイルを使い、かけ算九九は“かけわり器”で、わり算もタイルと数式を連動させ、五感をはたらかせます。「目に見える!」「わかったわかった!」楽しい授業を先生も実感してみよう。

5 国語 話に花がさくように、書くこと」を楽しく豊かに

北海道作文教育協議会(道作協) 齋藤 鉄也さん

子どもは本来表現が好きです。先生やお友達と楽しくお話し、相手との関係で話に花を咲かせます。そこには、自分の思いや感動を相手に分かってもらいたい、伝えたいという子どもの願いがあります。話に花を咲かせるように、作文も生き生きと楽しく表現できると、学びも生活も楽しくなります。①「上手い作文」から解放する、②子どもの表現のよさを見る目を持つ、③お話をするように作文を楽しむ、④書かずにはおれなくなる感動体験を、⑤書くことで学びを深く豊かにする。

交流会 27日(土)18:00~20:00

北防波堤ドーム公園

交流会は北海道遺産にも指定されている北防波堤ドームで開催！ ジングスカンと海の幸で楽しみましょう！



雨天決行です。完全予約制につき、あらかじめ申込をお願いします！

参加費 5,500円
飲み放題・生ビール付き
当日の差し入れ大歓迎です！

全体講演 28日(日)13:00~15:00

テーマ「子どもは地域の宝やき」 講師：鈴木 大裕さん

新自由主義的な考え方が学校現場に広く浸透しています。一方で、宗谷をはじめとした地方都市では地域の特徴やすこに住む人たちの力合わせによって、子育てや教育が子どもたちのためになるような行政や地域ぐるみで様々な工夫が行われています。

全体講演でお話される鈴木大裕さんは、高知県土佐町に移住し地域ぐるみの子育て・教育運動を進めながら教育研究活動をされています。全体講演では、現在の日本の教育現場が置かれている現状や、高知県土佐町の教育運動について、そして私たちがこれからの時代に教育という営みを豊かにしていくための展望について考え合う機会としていきます。



鈴木 大裕さん
教育研究者、高知県土佐町議会議員。高知県土佐町で教育を通じた町おこしに取り組んでいる。16歳でアメリカに留学、修士号取得後に帰国。千葉県の中学校で6年間教壇に立つ。のちにブルブライト奨学生としてニューヨークの大学院博士課程へ。著書に「崩壊するアメリカの公教育」がある。

分科会 28日(日)9:00~12:00

A 国語 読んで、考え、話してわかる

北海道作文教育協議会

文学作品や説明文の授業について、作文について、言葉や文字の指導について、学び合ひましょう。「国語の授業が苦手」「どのように授業をすればいいのかわからない」という方、大歓迎です。レポート、ワークシート、子どもの作品、学級だよりなどを持ち寄ってください。子どもが目キラキラさせて学ぶ楽しい授業づくりについて、いっしょに考えましょう。

B 社会・総合 対話的で、深い学びは当たり前でしょ

北海道歴史教育者協議会(歴教協)、北海道生活教育研究会

地域に開かれたカリキュラムの編成が学校現場に求められています。それは地域創造に可能性を求めた、まちづくりの視点を「社会参画」という目的が視野に入ります。しかし、そういった授業・カリキュラムの展開はまだ発展途上と言えます。社会科を教育課程の窓口にし、総合的学習の創造からのカリキュラム展開について、実践例を持ち寄って考え合ひましょう。

C 心とからだ ～音楽・体育の取り組みを通して～

北海道音楽教育の会(道音教)・学校体育研究同志会

子どもたちの『心とからだ』をどう育てていくか、音楽・体育のレポートをもとにして参加者の皆さんと一緒に考えていきます。分科会の中で、実際に体を動かしてわらべうたなどを楽しんででもらうとも考えています。動きやすい服装で参加してください。

D 集団づくりはインクルーシブ教育

～子どもたちの「いま」を語り合い、安心につながる活動と学びをつくりだそう～
全国生活指導研究協議会北海道支部・全国障害者問題研究会北海道支部

実践報告を素材に、子どもたちが育ち合う場と「困っている子」と活動や学びをおおしてつながる課題について考えます。二通諭のミニ講座「こんなときどうする？」を素材に子ども理解と対応のあり方について考えます。

E 道徳 全教科書を並べてみたら… こんな道徳ありますか？

全国生活指導研究協議会北海道支部(生研)、北海道作文教育協議会

道徳の授業で困っていませんか。困っていないけど、学んだことで子どもの内面や行動がどのように変わったのか、変わっていないのかをどのように見つめていますか。分科会では具体的な授業実践やプランを通して、道徳の授業はもちろん、教育課程全体との関わりについても学びあいたいと思います。